

2011 秋のイベント 神石高原町を楽しもう!

とよまつふれあいフェスティバル

10月23日(日) 豊松山村広場グラウンド

午前には、子ども相撲やいのご汁食べ放題、トマト詰め放題などが行われ、午後からはトマト丸かじり選手権や第18回全日本荷車引きレースが開催されます。コースを2周する熱いレースにご声援ください。



さんわふるさとフェア

10月23日(日) 役場本庁周辺



ステージでは、吹奏楽や鼓笛演奏、わらべの大饗宴と子ども達が大活躍。警察音楽隊も出演します。さんわなわとび選手権は、10人1組で誰でも参加できます。今年も「さんわの味」を大いにお楽しみください。

ゆきふるさとまつり

10月30日(日) 油木シルトピアグラウンド

油木小学校によるよさこいの披露や、保育所による踊りなどステージを盛り上げます。野菜の品評会では自慢の新鮮野菜が集結し、即売会もあります。地場産の米などを使った食事コーナーも開いております。また、艶やかなよさこいで会場を魅了します。



ふれあい神石まつり

10月30日(日) 帝釈峡スコラ高原 神石コスモドーム



恒例の21メートルのロング巻きずしやステージ発表があります。午後からは、広島和牛など豪華賞品をめざして、丸太早切り選手権が行われます。子どもから大人まで参加して楽しめます。

特産品、新鮮野菜の販売、屋台や展示コーナーもあります!!

お問い合わせ先 神石高原町観光協会 ☎85-2201

第6回神石高原マルシェ

“神石高原グルメグランプリ” 出場者募集! & マルシェ出店者募集!

今回のマルシェは、神石高原町産の食材を使った料理ナンバー1を決めるグルメイベントも同時開催します。優勝めざして、自慢の料理を出店してみませんか? 尚、特典は優勝者以外にも予定しています。

<p>日時: 11月19日(土)・20日(日) 午前9時~午後4時【2日間】</p> <p>場所: 道の駅さんわ182ステーション</p> <p>出店対象者: 町内に営業許可を有する飲食業従事者、町内で活動する個人・団体及び神石高原マルシェ出店実績団体</p> <p>出店条件等: 神石高原産の食材(農産・畜産物等)を主に使用したメニューを提供できること。 詳しくは町ホームページ、又は神石高原マルシェ実行委員会へお問い合わせください。</p> <p>出店料: 無料(ただし、通常販売する商品とは別に、グランプリ参加用で提供する商品(試食程度の量で構</p>	<p>いません)を自己負担にて別途準備してください。</p> <p>審査方法: 来場のお客様からの投票</p> <p>締め切り: 9月30日(金)</p> <p>申込方法: 所定の申込用紙を期限までに提出してください。(ファックス可) 申込用紙は、町ホームページにも掲載しています。</p> <p>特典: 道の駅内販売コーナー1年間確保(使用料自己負担) 商品貼付用グランプリシール贈呈 町観光大使の優先PR ローソンからの商品監修(アドバイス)提供及び販売交渉権</p>
--	--

また、通常のマルシェ出店者も同時募集しています。

<p>出店要件:</p> <p>①神石高原町産の食材を主に使用した特色のある加工品、料理、菓子、パンなど</p> <p>②こだわり野菜、果物、植物など</p> <p>③フリーマーケット(木工品、手芸品など)</p>	<p>1日当たりブース料(テント・資機材持込)【町内出店者】:</p> <p>①5,500円 ②3,500円 ③1,500円 (2日通しの出店の場合、1日当500円引き)</p> <p>締め切り: 9月30日(金)</p>
--	---

第5回神石高原マルシェを福山で開催します! ぜひお越しください。

日時: 10月15日(土)・16日(日) 午前9時~午後4時【2日間】
場所: 入船交流広場(福山市入船町3-58)【ポートプラザ隣】

申し込み先・問い合わせ先: 神石高原マルシェ実行委員会 (まちづくり推進課 ☎89-3332)



地区等	氏名(敬称略)
油木	○田邊 浩一
	○川上 智司
	○赤木 健二
	○横山 武信
	○横山 誠之
	○川上 昇
	◎大杉 英雄
神石	○圓道 昭裕
	○石田 正江
	○廣田 博子
	○滝口 英郎
	○田邊 孝章
	○福本 春恵
	○久岡 豊
	○横山 令子
	◎川井 正美
豊松	○井上 正和
	○矢違 園子
	○笹木 春夫
	○宗田 秀信
	◎藤原 博幸
三和	○立原 忠義
	○佐武 晃正
	○小川 義和
	○村田 禮治
	○佐伯 知省
	○奈良木 勝
	○丸山 義道
	◎山本 誠
	●高原 敬二

○は自治振興会担当
◎は地区担当
●は総括担当

町では、「人と自然が輝く高原のまちづくり」の実現のため、過疎化、高齢化、行政の広域化などが進む中で、地域のコミュニティ活動が維持されるよう、地域の自立・活性化に向けたコミュニティ活動を支援し、住民と行政との協働により、活力ある地域づくりを進めています。

平成21年度からは集落対策の一環として、特に小規模で高齢化率の高い49集落を「源流の里」と位置づけました。そして、地域の現状の目配りをするともに、地域の課題を住民自らの課題ととらえ

ることで、住民、地域、関係団体、行政が連携した取り組みが進められるよう、地域のアドバイザー、コーディネーター役として集落支援員を配置し、その課題の解決に向けた取り組みを進めています。

本年8月からは、配置希望のあった自治振興会に集落支援員を配置し、都市部から地域の住民と一緒に地域活性化に取り組む人材「地域おこし協力隊員」を誘致して、その定住・定着を図るとともに、地域力の維持・強化を図る新たな取り組みをスタートしました。



第1回集落支援員、地域おこし協力隊研修会

新たな集落支援員制度がスタートしました!!